

# 物価高騰のもと、市民のいのち・暮らしを守る予算を



**3月議会  
予算集中審査**

3月12日～18日

3月12日から18日まで5日間にわたり、議長を除く全議員による予算決算常任委員会が開催され、令和6年度一般会計予算案について集中審査が行われました。日本共産党甲賀市議員団は、物価高騰のもと、市民のいのちと暮らし最優先の予算になっているか、市民の願いが盛り込まれているか、無駄な予算はないかなどの視点から積極的に発言をしました。18日の委員会最終日には、西山実議員が反対討論を行いました。22日の本会議最終日に、新年度予算案をはじめ、各議案に対する採決が行われました。

新年度の予算総額は前年度より17億2千万円増の456億2千万円。予算決算常任委員会では子育てや教育、地域経済、福祉・介護などの事業について各部署ごとに審査が行われました。

前年度に続き、事業の民間委託や業務委託が拡大しています。地域包括支援センターは、信楽・土山に続き、甲賀・甲南も民間委託の予算が計上されており、高齢化がますます進むなか、地域包括支援センターは直営とすべきと質しました。

社会問題となっているヤングケアラー支援については、居場所作りとして民間任せとなっていることなど、多くの議員から疑問が出されました。事業内容がヤングケアラーの支援につながるものか部局間で議論を深め予算化すべきと質しました。その他移住定住事業や病児・病後児保育無料化などにおいても、積算根拠があいまいな事業が提案されており、制度設計時の熟度を高めるべきと指摘しました。

また、コミバス・コミタクの4月からの再編については、廃止や減便が多くあり、市民の足である地域公共交通をどう守るかが問われていると質しました。JR草津線利用促進事業についても、利用に繋がる施策とすべきと求めました。

## 一般会計予算案 西山実議員が反対討論

《西山実議員の反対討論骨子》  
 予算総額は過去最大の456億2千万円。その最大の要因は大型事業予算の計上によるもの。特に道の駅あいの土山の再整備には20億円と当初の7億円の予算より大きく膨らみすぎである。長引く物価高騰のもと市民のいのちと暮らしを支える予算の拡充こそ求められる。また、コロナ感染症対策についても市独自の予算を確保すべき。

前年度に続きアウトソーシングや業務委託が拡大している。高齢化社会において地域包括支援センターの役割は大きく、委託でなく市直営が望ましいもの。5地域のコミュニティセンターが自治振興会の指定管理とされるが、それ以外の地域も含め区・自治会と自治振興会の在り方など意見も多く議論が必要である。市職員について新年度は一定増員など見直しは図られたが、業務量の見直し、更なる職員体制の強化が求められる。またいくつかの新規事業において制度設計の段階で、議論を深めた上で予算化する必要のあるものが見受けられた。

広島平和記念式典参加への予算復活、加齢性難聴に伴う補聴器購入補助、高校卒業までの医療費無料化などが予算化されたことは評価するもの。

## 甲南・土山予約制デマンド導入取りやめ 4月からのコミバス再編計画

市の公共交通推進課の説明では、当初の計画で示していた甲南環状線、土山地域（鮎河・山内、土山）での予約制デマンドバスの導入は取りやめ、現行のままコミバスが走ることをなりました。通学や車両の関係から導入が難しいと判断したとのこと。みなくち・おおのデマンドバスも廃止とされていましたが継続となります。また、新たに甲賀佐山地域では、予約制デマンドバスが導入となります。3月25日頃に改正された時刻表が発行される予定です。

## 原発なくせ！びわこ集会



東日本大震災・福島第一原発事故から13年。9日膳所公園でびわこ集会が開催されました。甲賀市議員団3名も参加しました。

**日本共産党**  
**甲賀市議員団ニュース**  
 2024年 3月 24日 第488号



山岡 光広  
 甲南町森尻 16  
 TEL 86-2985  
 Fax 86-0415



岡田 重美  
 土山町南土山甲 78-15  
 TEL 66-0696  
 Fax 66-0696



西山 実  
 水口町本丸 3-28  
 TEL 62-3044  
 Fax 62-3044